

※会場などにお越しの際は、新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力ください。また、状況により延期や中止となる可能性があります。

## お知らせ

事業者向け

## 新たな補助制度

## 産業ものづくり課・☎2110

市内へのIT関連企業の立地、中小企業者などの認証取得や人材育成を支援します。

申込 同課(本庁舎別館1階)

▼IT関連企業立地促進事業補助金

対象者 市内に事務所を有しないIT関連企業

対象経費 通信環境整備費、通信回線使用料など

補助額

▽対象経費の50%最大300万円

▽従業員定住促進として、市内

移住者1人あたり20万円

▼ISO等認証取得支援補助金

対象者 市内に事業所を有する中小企業者

対象経費 コンサルタント料、登録料など

補助額

対象経費の30%(1認証あたり最大50万円)

▼ものづくり人材育成支援事業

補助金

対象者 市内中小製造事業者

対象経費 技能検定受験料、技能講習費など

補助額 対象経費の30%(最大20万円)

※各制度の条件など詳細は市ホームページをご覧ください。



## 新製品・新技術開発補助金

産業ものづくり課・☎2110

対象者 新製品、新技術の開発研究を行う製造業などを営む中小企業など

対象経費 交付決定日以降に発生した設備費、原材料費、外注加工費、産業財産関係費

※5年3月31日(金)までに終了する事業が対象です。

補助額 対象経費の30%以内で最大100万円

申込 5月2日(月)から31日(火)午後5時までに申請書を同課本庁舎別館1階へ持参または郵送(T326-8601足利市役所産業ものづくり課あて)

※プレゼンテーションによる審査があります。

※詳細は市ホームページをご覧ください。

※詳細は市ホームページをご覧ください。

※詳細は市ホームページをご覧ください。

※詳細は市ホームページをご覧ください。

ご協力ください

## 国民生活基礎調査

栃木県健康増進課

☎028-623-3094

厚生労働行政の基礎資料とするため、保健、医療、年金などについて伺います。

対象 巴町、錦町、朝倉町三丁目、五十部町、鹿島町、大月町、西場町、福富町、小俣町の一部

調査期間 5～7月

調査方法 県知事が任命した調査員が訪問



販売しています

## 野州山辺駅周辺の土地

山辺西部土地画整理事務所

☎1040

売却地 下表のとおり

売却方法 一般競争入札

入札参加の事前申込 5月30日(月)から6月10日(金)までの平日午前8時30分から午後3時までに

同事務所(八幡町830番地17)

※詳細は、同事務所または市ホームページをご覧ください。

## 売却地・予定価格

所在地	地積	予定価格	所在地	地積	予定価格
7街区2画地	761.94㎡(約230坪)	2,445万8,274円	59街区8-1画地	217.37㎡(約66坪)	893万3,907円
7街区3画地	296.44㎡(約90坪)	1,001万9,672円	59街区8-2画地	220.01㎡(約67坪)	904万2,411円
21街区37画地	78.30㎡(約24坪)	256万8,240円	59街区8-3画地	231.23㎡(約70坪)	950万3,553円
62街区2画地	94.54㎡(約29坪)	205万1,518円	59街区8-4画地	234.07㎡(約71坪)	962万277円

## 都市計画の変更に伴う

### 案の縦覧

都市計画課・☎2167

#### 縦覧する案

▼足利佐野都市計画地区計画の変更【市決定】(あがた駅北産業団地区)

縦覧期間 5月10日(火)～24日(火)

／平日午前8時30分～午後5時15分

場所 同課(本庁舎5階)

意見書の提出 縦覧した案に意見のある方は、縦覧期間中に住所、氏名、生年月日、職業、意見の趣旨とその理由を書いた意見書を同課へ持参または郵送(〒326-8601足利市役所都市計画課あて)

## 行政サービスセンター

### 休業日のお知らせ

同センター・☎705855

休業日 5月7日(土)

※作業状況により5月8日(日)も休業の可能性あります。

市役所の情報ネットワーク機器の工事に伴うシステムの停止により、休業となります。

## 温故知新10

### 官民協働のまちづくり

早川 尚秀

昨年5月の市長就任以来、多くの企業・団体との間で『まちづくりに関する包括連携協定』を締結いただきました。具体的には、『コーエーテクモホールディングス』『第一生命』『明治安田生命』『日本生命』『あいおいニッセイ同和損保』『日本郵便』『足利小山信用金庫』『ファイナシヤル・ソリューションズ』『損害保険ジャパン』『SOMPPOひまわり生命』の各社様です。

その協定の内容としては、『健康増進事業に関する協力』『生涯学習講座の開催』『子育て・保育支援』『教育支援』『産業振興』『SDGs講座の開催』など、数多くのメニューが設けられています。例えば、コーエーテクモ様には『まちの先生』事業としてプログラミング講座の開催や、交通安全ポスター作製などを既に実

施していただき、高い評価をいただいています。

各社との協定内容は市政全般に及ぶものであり、その具現化が本市のまちづくりには必要であると考えています。民間企業・団体との協定は、締結がゴールではなくスタートであると認識しています。

今後は、各社がもつノウハウを活用させていただきながら新規事業に取り組むことに加え、本市が既に実施している事業をこれら協定に基づく事業に置き換えたり、融合させたりすることで、より中身の濃い事業にブラッシュアップできるのではないかと考えています。

また、『災害時の応援協定』についても、『アキレス』『浄化槽協会』『建築士会』『コジマ×ビックカメラ足利店』『ヨークベニマル足利店』『白鷗大学足利高等学校富田キャンパス』『フレッセイ』『アシコタウンあしかが』『佐川急便』『高橋ヘリコプター』の各社・団体様と締結いただきました。

こちらにつきましても、災害時における施設の提供や生活物資の供給・輸送、消防用水の確保など、幅広い内容となっております。災害に強い地域づくりを進めていく上で大変ありがたく思っています。

さらには、今年度から新たにスタートした公共施設への『ネーミングライツ(命名権)』事業についても、多くの市内企業様からご応募いただきました。企業としての広告というより『足利市に対する支援』というお言葉をいただいております。

民間企業・団体の皆さまからのご支援ご協力をいただきながら、そして民間の持つノウハウやネットワークをお借りし積極的に活かしながら、暮らしやすいまちづくりを進めてまいります。



▲災害応援協定調印式の様子